



2019-2020年度R.I.テーマ
ロータリーは世界をつなぐ



2019-2020年度 須田 悦正 会長

第2798回 例会

2019. 9. 26

会長あいさつ

週報 No.2127

発行 2019年 10月 3日

2019-2020年度
会長 須田 悦正
幹事 斎藤 修弘
副会長 宇多村海児
副幹事 深澤 圭司
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 横山 泰史

行事予定

- 10月10日 ガバナー公式訪問
RID2770ガバナー
小林 操 様
- 10月19日 社会奉仕事業
藤村病院健康フェア
- 10月24日 世界ポリオデー
上尾3クラブ合同例会
- 10月31日 定款の規定により休会

皆さまこんばんは。本日はお忙しい中、本年度第12回、夜間例会に

多数の皆さまにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、少し障害についてお話しさせていただきます。これからお話しする内容はあくまでも一つの見解としてお聞きいただければと思います。こんな見方もあるのだなと思って頂けたらありがたいです。先日、車いすの方2名とお話しさせていただく機会がありました。一人の方は先天性で小さい頃より車いすで、もう一人の方は大人になってから車いすです。その方々との会話の中でとても強く印象に残るお話しがありました。どんな時が嫌ですか？みたいな話をしている中で、車いすで転んだ際に、「大丈夫ですか？」「お助けしましょうか？」と体を起こされようとする時です。私は、はじめこのことを聞いた時に「なぜ？」と「わかる！」が混同していました。理由は、普通の人が道で転んだらほとんどの人は「何もしないで通り過ぎるか」「笑うか」のどちらかでしょう。「障害者」だから声をかけるのでしょうか。そもそも「障害者」と思われることが嫌だとおっしゃっていました。そこで、私も以前より「健常者」「障害者」という言葉に違和感を感じていました。なぜ見える範囲のことだけを捉えて、「健常者」「障害者」と区別するのかと。この言葉自体が差別を生んでいるのではないかと。

少し話が重くなってしまうので少し、軽い例えを入れます。私みたいに五体満足で顔や性格も良くって完璧な人間に見えますが、目に見えない頭の中は少し変です。なので現状の物差しで測ると「健常者」に分類されます。私自身、思考回路は少し変わっているとう覚している。そこで、そこだけを見ると「障害者」に分類されます。現在の社会に適合できる人が健常者と適合できない、または難しい人は障害者となること自体が「差別」を生んでいるように感じます。

足が速い人、手が器用な人、目がものすごく良い人、頭がとても良い人、内臓が強い人、もちろんこの逆もありますが、いろんな特徴ある人がいてこそ社会が成り立っているのではないのでしょうか。そんな個人のアイデンティティがあってこそ社会が成長し、住みよい街ができてくるように思います。

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

今の社会環境において足に特徴があって階段を登れない人は、足に違う特徴がある人が助ければよい。手に特徴があって物を持ってない人は、物を持つ人が助ければよい。そんな風に、全ての人が「人」に対して優しさや思いやりを持って社会を作っていけばいい。「健常者」「障害者」の区別や差別なく過ごせる社会が作られるといいなと思います。この言葉自体なくなることが本当の意味での「差別のない社会」ではないでしょうか。今回、この方々とお話しさせていただいて改めて感じたことです。ものすごく刺激を受けました。この方々にお礼を申し上げます。

さて少し重い話のあとですが、三つ明るいニュースがございます。

◇昨日、かねてよりお誘いしていた1名の方に入会申込書への承諾をいただきました。大塚さんにもお手伝いいただきまして、新たな仲間が承諾していただき嬉しく思います。この方は、46歳で大工をやられています。私の自宅を作っていた方です。

◇2つ目は、日程は未定なのですが、どうしても卓話をお願いしたかった1名が卓話を承諾していただきました。彼は「宣教師」です。日本の大学を出てからアメリカに渡り、洗礼を受けてキリスト教徒になり、宣教師になって日本での布教活動をしています。学生時代は陸上のやり投げでインターハイにも出場しています。私が「孤独は男を強くする旅」をしている時にロサンゼルスでお世話になり、彼から「アガベ」を学びました。今から楽しみです。

◇3つ目は本日お店がオープンしました。これから繁盛できるようにがんばります！

さて、本日は結婚・誕生祝いもございまして。おめでとうございます！今月お誕生日の皆さんの日は何の日だろうということ調べてみました。

まず9月2日、小田切会員の誕生日は「宝くじ」の日。宝くじの日生まれたから当たるだろうと思えますが、残念ですがあまり当たらないと思えます。

9月13日、この日は、大木会員・野瀬会員・門崎会員と3人が同じ誕生日で、この日は「世界の法の日」です。

9月20日、村岡会員の誕生日「空の日」です。本日の例会主題は、部門セミナー報告となります。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

斎藤 修弘幹事

◇地区大会のパンフレットをお配りしました。1日目と2日目の会場が異なります。詳細をご確認くださいませようお願いします。

◇米山記念奨学会の決算報告が届きました。回覧しますのでご確認をお願いいたします。

◇会長あいさつにもあったように、須田会長のお店＝「Curry & BAR Cfarm(シーファーム)」が本日オープンしました。本日の懇親会はそちらで開催しますので皆さまのご参加をよろしく願っています。

委員長報告

親睦活動委員会 小田切 宏治委員長

会長あいさつや幹事報告にもあったように本日の懇親会は「Cfarm」で行います。よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会 長沼 大策委員長

◇地区の「点字名刺プロジェクト」を当クラブも行いたいと思います。委員会費で行いますので、希望者は11月末までに、ご自身のお名刺100枚を持参のうえ、長沼宛にお申し込みをお願いいたします。

◇腎・アイバンク献眼にご協力いただける方は、申込用紙を回覧しますのでご記入をお願いいたします。また腎・アイバンク協会への賛助会員の登録書も回覧いたします。法人会員(一口)1万円以上、個人会員(一口)千円以上となり1年ごとの登録になります。賛助会費＝寄付金は税額控除制度が適用されますので、ご登録をよろしくお願いいたします。

ロータリー財団寄付者に記念品授与

大塚崇行会員、久保田会員に記念品が授与されました。



近況報告

小林 邦彦会員

本日は3点報告いたします。まず1点目ですが、上野で銀座線に乗った時に席を譲られました。その瞬間、何が起ったかわからなかったのですが譲ってくれたのは若い外国人の女性でした。丁寧に断りましたが、嬉しさと寂しさが入り混じった感情でした。

2つ目は、前々から行きたいと思っていたボストン美術館とニューヨークのメトロポリタン美術館に行ってきました。ボストン美術館には日本の美術品が多く収容され、一部を見ることができ、結婚40年でもあり、いい思い出になりました。

3つ目は、私の三男が9月29日に結婚することになりました。その日は飲みすぎないように気を付けたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

結婚・誕生祝い

お誕生日 おめでとうございます！



小田切 宏治会員

先ほど須田会長から、宝くじの日生まれたのに当たらないと言われました(笑)。宝くじに限らず、私は賭け事が苦手です。46歳を迎え、もう少しギャンブルしているかなと思っています。よろしくお願いいたします。

村岡 武仁会員

誕生祝い、ありがとうございます。9月20日に82歳を迎えました。日本の平均寿命は男性81歳、女性87歳と言われていますが、健康寿命はそれより10歳若いらしいですね。4～5年前から物忘れもあり、先日は階段でつまづいたりしたので、できるだけ周りに迷惑をかけずに暮らしていきたいと思えます。

また9月28日に瀬戸院で「お見送りライブ」を開催します。東日本大震災の翌年から、「私たちにできることはないか」と始めたことで、今年で8回目を迎えます。お時間がありましたら足を運んでいただけたらと思います。

結婚記念日 おめでとうございます！

久保田 勲会員

9月12日に結婚26年目になりました。50歳を過ぎ二人で毎日仕事をしているので、今後は有意義な時間をつくりたいと計画しているところです。これからも永らく夫婦仲良く暮らしていきたいと思えます。

藤村 作 会員

9月15日に結婚11年を迎えました。夏休みとしてアメリカに旅行に行ってきた。サンディエゴからロサンゼルスにレンタカーで走りました。私は大リーグで大谷翔平君を観たのが良かったです。あとは子供たちとディズニーランドに行ったりしました。10年を越えて、これからも夫婦仲良くやっていきたいと思えます。

芳賀 克久会員

9月19日に12回目の結婚記念日を迎えました。私が上尾で暮らして10年でもあります。あと10年暮らすと、実家での生活より、上尾の方が長くなります。今後とも波風立てず慎重やかに頑張っていきたいと思えます。

例会主題

部門セミナー報告

公共イメージ部門 長沼大策副委員長

会員増強維持部門と合同で行われた部門セミナーに出席してきました。一言でいうと「10月24日世界ポリオデーを盛り上げる」に尽きます。基調講演は石井隆司様による「夢は諦めなければ必ず叶う」でした。講師はポリオのため生まれつき手足にまひがあり歩行が困難で、子供の頃は自分がなぜこのような身体で生まれてきたか落ち込み、自分が嫌気がさして引きこもっていたそうです。そんな石井様が生きて180度変えたのは、足こぎ車いすに出会ってからで、自分の力で自由に移動できる喜びが大きな自信になり、群馬のマラソンを完走。現在は障害を持っている人を応援し、自分自身も



ハワイホノルルマラソンの出場を目指して活動しているそうです。時々声を詰まらせながらの講演は素晴らしい、会場は感動の渦に包まれました。講演後、公共イメージは「世界ポリオデーの活動方法」についてテーブルディスカッションを行いました。

会員増強維持部門 斎藤博重委員長

地区の会員目標数が2,770名で、特に40歳未満の会員と、女性会員を増強してほしいと言われました。また1会員1名のリストアップをして、その方を中心にアプローチすれば必ず増強につながるのでは、とのことでした。テーブルディスカッションの意見の集計をお伝えします。◇例会を面白くするために卓話を工夫する。◇一人一人を紹介するように、常に会長が投げ掛けてほしい。◇職業奉仕の精神を高め入会に導く。◇J.C.出身校、婦人部、法人会などに声をかける。◇一人だけで増強するより全員で1名を紹介するようにしないと長続きしないのでは、国際奉仕の体験をどんどん発表していく、退会された方の親族など会員の条件を満たしている方の情報を共有し訪問してみたら、断られても5回は勧誘してみる、ゴルフ仲間・飲み仲間をどんどん誘う、取引先を紹介してもらい、親族旅行や移動例会などにオブザーバーとして参加してもらい、という意見もありました。いずれにしても積極的に声をかけていくことだと思います。今後、紹介シートを作成してみたいと思えますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

職業奉仕部門 芳賀克久委員長

7月20日の奉仕PJ3部門合同セミナーでは職業奉仕の基本的なお話を伺いました。印象的だったのは、社会奉仕や国際奉仕と違い、相手がないということ。職業奉仕はロータリアン個人がどのように行動するかにかかると、すなわちロータリーの目的第2項を実践する、というお話しがありました。

職業奉仕部門セミナーでは前橋RC・本田博己様の講演で、今までの典型的な職業奉仕論からの脱却と、奉仕の理念という言葉でロータリーの理念について議論を深めていくというものでした。ロータリーの目的は奉仕の理念を高め、その価値を高めていくこと、理想的ロータリアンとは個人生活、職業生活、社会生活等、人生のすべての面で奉仕の理念で学びと研鑽をして実践していく人であるというお話しでした。今年度は職業奉仕の事例集を作成する取り組みを始めるそうです。これはクラブ内だけではなく各会員の事業所でも事例を集めて、今後の活動の参考として、またロータリーのアピール材料に使用することを目的にするそうです。

ロータリー財団委員会 樋口雅之委員長

第一部は「ポリオ根絶からクラブ活性化へ」というテーマでパネルディスカッションが行われました。ポリオですが、本年9月18日時点でナイジェリアが0人で、3年連続0人なのでいよいよ終息宣言ができるのではないかとのことでした。パキスタンは62人、アフガニスタンは16人でした。そして井原PDGからポリオ根絶の歴史についての説明がありました。ポリオは、天然痘に続き、地球上から根絶できる病気で、治療法はなくワクチンで予防するしかないということでした。

10月24日は世界ポリオデーですが、その流れで、令和2年3月末には大宮・氷川神社から秩父へクラシックカーのパレードがあり、地区として協賛していくとのことでした。

当クラブ・ロータリー財団委員会は、10月の藤村病院さんの健康フェアも主管しますが、そちらでも多数の皆さまのご協力をいただきたくお願い申し上げます。



スマイル

須田会長・斎藤修弘幹事・宇多村副会長・深澤副幹事・武重会員／大塚信部会員・小林邦彦会員・村岡会員・尾花会員／名取会員／大塚崇行会員・斎藤博重会員／久保田会員・藤村会員／樋口会員／長沼会員／坂本会員／芳賀会員／小田切会員／丹井会員

会員数	38
出席数	23
欠席数	15
出席率	60.53%

